



白聖はくあ 第3号 令和4年9月27日発行



【大学共通テストの出願始まる】

令和5年度大学入学共通テストの出願が9月26日（月）から開始しました。令和5年1月14日（土）・15日（日）に実施されます。



3 試験期日・試験時間割

期日	出題教科・科目	試験時間 (注1,2)
令和5年 1月14日(土)	地理歴史 公民	2科目受験 9:30～11:40 (注3) 1科目受験 10:40～11:40 (注3)
	国語	13:00～14:20
	外国語	【英語】 【リーディング】 【ドイツ語】 【フランス語】 【中国語】 【韓国語】 【筆記】 15:10～16:30 【英語】 【リスニング】 17:10～18:10
1月15日(日)	理科①	9:30～10:30 (注4)
	数学①	11:20～12:30
	数学②	13:50～14:50
	理科②	2科目受験 15:40～17:50 (注3) 1科目受験 16:50～17:50 (注3)

《本校卒業生による進路ガイダンス》

東北大学・東京大学等に在籍する本校卒業生によるオンライン講演会を8月22日に実施しました。大学や学問の魅力・入学前に必要な心構え・高校時代の生活等に関する話を伺い、進路決定の指針や学習の参考にしました。【課題発見力】【自己実現力】【自己管理能力】



●感想 どの先輩にも授業や10分休みの最大限に活用していることが共通していると感じました。また、先生との信頼関係がとても大切だと感じました。一番印象に残ったのは、1,2年生の方は、目標をもって勉強以外の好きなことに熱中するのよさという言葉をいただきました。その方が受験勉強も目標をもって頑張れると知ったので、勉強へのやり易いところや部活も好きなことを熱中したいと思いました。高い目標をもってこれからの勉強にも取り組んでいきたいです。

《医学科進学のための特別講座 D'sVoiceの様子》

8月25日に実施した、医学科志望の3学年生徒を対象とした説明会・講座の様子です。(本校会場)

講師：水戸ブレインハートセンター院長

畑山 徹 先生



【大学について学ぼう】

進路選択では、自分に合った学校を見つけないもの。でも、行きたい大学や大学院についてきちんと調べずに志望校を決めてしまい、入学後に後悔……なんて声もあります。そんなときに役に立つのが、「アドミッション・ポリシー」です。アドミッション・ポリシーについて知ることは学校選びや入試の傾向をつかむ手がかりになります。

《アドミッション・ポリシーとは》

アドミッション・ポリシーは大学進学希望者が大学選択をする際の一助となります。そこで基本的な概要や役割についてお話しします。

アドミッション・ポリシーは、入学者の受け入れ方針をまとめたものです。自学の特色や教育理念を反映した上で「どのような学生を求めているか」という受け入れの方向性が、明確に記載されています。学部・学科ごとにアドミッション・ポリシーを定めていることも少なくありません。大学教育で向上させる力や入学者に求める能力などを、入学希望者に伝えるのがアドミッション・ポリシーの役割です。

とはいえ、アドミッション・ポリシーは入学者の基準を設けるものではありません。高校時代までに身につけておくべき知識に関しての記述もありますが、実際の知識・思考力の有無などは入学試験によって審査されます。したがって、大学のアドミッション・ポリシーを読むことにより、学習意欲がその大学で学修・研究するにあたり十分なものであるかどうか、また、その大学で身につけられる能力と入学希望者の目的が合致しているかどうかを知ることができるでしょう。

《アドミッション・ポリシーのチェックポイント》

受験生が志望校を決めるにあたって、その大学の情報を収集することは非常に重要です。それぞれの大学にはイメージがありますが、イメージが独り歩きしてしまい、実際の研究内容や教育方針とは異なることも少なくないからです。また、入学してから「希望していた研究ができそうにない」「想像していた校風と違う」といったミスマッチが生じるのを防ぐ意味でも、アドミッション・ポリシーの確認が必要です。とくに次の3つの理由から、受験生は志望校のアドミッション・ポリシーをしっかりと確認しておくようにしましょう。



〈確認すべき3つの理由〉

- ①大学の特色や教育理念、何に力を入れているかが分かる
- ②入学後に取り組む研究について方向性をイメージできる
- ③入学試験の方針や出題傾向について知ることができる

アドミッション・ポリシーは各大学が求める学生像を文章にしたものですので、大学の方針や教育理念など、さまざまな思いが凝縮されています。そのため、チェックすべきポイントを押さえ、自分にとってその大学が本当に合っているのかどうかを確認できるようにしておくことが大切です。

では、受験生が志望校のアドミッション・ポリシーを確認する際、どのような点をチェックしておいたら良いのでしょうか。とくに次の3つのポイントを押さえて、アドミッション・ポリシーをチェックしておくとうれしいでしょう。

〈確認すべき3つのポイント〉

- ①どのような人物・能力が求められているのか
- ②卒業までにどのような能力を身につけられるのか
- ③入試を通してどんな能力を確認しようとしているのか

アドミッション・ポリシーは、大学としてどのような学生に入学してもらいたい方を示した方針です。これから志望する大学について調査する際には、アドミッション・ポリシーを忘れずにチェックし、熟読しておくようにしましょう。志望校についてより詳しく知るきっかけになるのはもちろんのこと、入学後に身につく能力や知識をイメージする上で役立つはずですよ。

また、この他にもディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーといったものもあります。

《ディプロマ・ポリシーとは》

ディプロマ・ポリシーとは、各大学が定める「卒業認定・学位授与の方針」です。中学校や高校とは異なり、大学では卒業する際に「学士」という学位が与えられます。学位とは、一定の水準の教育を受け、知識・能力があると認める資格のようなものです。つまり、ディプロマ・ポリシーは、大学側が自信をもって卒業資格を出せる学生の基準であり、教育の質保証といえます。

大学によって、また学部によっても、ディプロマ・ポリシーは異なります。知識・技能だけではなく、倫理観やコミュニケーション能力を卒業要件としている大学や学部も少なくありません。そうした学位授与の方針を事細かに記したものが、ディプロマ・ポリシーです。

《カリキュラム・ポリシーとは》

カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーを達成するための、教育課程編成・実施の方針として定められます。大学がどのような教育内容をどのような方法で実施するか、そして学修成果をどのように評価するのかを具体的に記しています。出願時に学修計画書の提出を求められる際はこれをよく踏まえた上で作成する必要があります。

